

客らのイラストで 石畳モニュメント

古道センターに設置

熊野古道世界遺産登録10周年を記念する締めくくりのイベント「『幸結びの路』フェスタ」が13日開かれる県立熊野古道センター（尾鷲市向井）に、熊野古道の石畳をイメージしたモニュメントがお目見えした。

モニュメントは高さ約1・5メートル、イラストの描かれた430個の石が石畳のように並んでいる。イラストは、今年4月から10月に紀北町のオートキャンプ場「キャンプinn海山」を利用した人たちが描いた。同フェスタは、県と市町でつくる実行委員会主催。当日は午後3時から同6時半、ピアノストの天平さんによるコンサートなどがある。問い合わせは県東紀州振興課（059・224・2193）。



熊野古道の石畳をイメージしたモニュメント